

連帯

No. 196

すべての職場にたたかう労働組合をつくらう!!

広島連帯ユニオン機関紙 2010年3月7日発行

〒731-0101 広島市安佐南区八木

4-2-5(2階中央)

電話: 082-873-1446 FAX: 082-873-1475

E-mail: rentai-union@theia.ocn.ne.jp

http://www12.ocn.ne.jp/.union-hi/index.html



国鉄闘争先頭に10春闘に決起開始 検修外注化阻止・1047名解雇撤回 東京・代々木に広島連帯ユニオンも総力結集



JR東日本本社に向かって怒りのシュプレヒコール（新宿駅西口 JR東日本本社前）

当日は一日みぞれ。寒さ吹き飛ばしてデモに出発。広島の隊列の先頭にユニオンの仲間（代々木公園）

2月13日、「JR東の検修全面外注化粉碎・国鉄1047名解雇撤回、全国労働者総決起集会」が東京・代々木公園で行なわれ、全国から1850名が集まりました。広島連帯ユニオンも総力で結集しました。

JR東が行なおうとしている検修業務の全面外注化攻撃は、資本の利益追求の前に安全を投げ捨て、労働組合と団結を破壊する絶対に許せない攻撃です。

ユニオンの各職場においてもまったく同じ攻撃と直面しており、検修外注化をめぐる決戦は国鉄労働者だけでなくすべての労働者にとって未来のかかったたたかいです。

当日は朝からみぞれでしたが、寒さをはねかえして元気よく集会とJR東本社に向かってのデモが行なわれました。

特に、2・1～2のストをたたかった動労千葉の平成採の青年労働者の発言は決定的でした。外注化攻撃にたたかって勝つという展望を感じさせる集会でした。

同時に、国鉄1047名闘争もいよいよ正念場。4者・4団体による政治解決＝闘争の幕引き路線を断じて許さず、解雇撤回をあくまで求めて闘うという闘争団の決意が鮮明に表明されました。

大失業時代のいまだからこそ、1047名闘争がいよいよ労働者階級全体の牽引車となっていく情勢です。この集会に結集する私たちこそが国鉄1047名闘争の責任勢力となろう。

国鉄を先頭にして全ての労働者が立ち上っていく、そういう展望を感じさせる集会とデモでした。

3・1～2 動労千葉第二派ストに続き

3・20 ワーカーズアクションに大結集を

政府与党による国鉄1047名解雇撤回闘争解体策動が強まっています。沖縄基地問題、社保庁労働者の決起と鳩山政権は労働者の怒りの前にぐらぐらです。3月20日、全世界の労働者とともに闘う労働者・労働組合ここにありという大隊列で再度代々木公園に登場しよう!

支部報告

草津病院支部

M組合員への再雇用拒否＝解雇攻撃に対する1月31日のストライキに続き、M組合員先頭に就労闘争・職場ビラまきに決起しています。

病院当局は、病棟再編にともなう超多忙化、その結果引き起こされた大量退職、人手不足をさらなる職場再編・合理化＝極限的労働強化で乗り切ろうとしています。絶対許せません。職場の団結の強化・拡大をめざして闘うぞ！

医療福祉支部

浜脇整形外科に勤務していたS組合員にたいする労災不支給に対して広島労働局に再審査を申し立てていましたが、再審査・支給を勝ち取りました。

広大生協労組

2月8日に団体交渉を行ない、中四国方式導入問題、労災問題、未払い賃金問題について徹底追及しました。さらに、10春闘勝利に向かって全組合員の団結を固めるため、2月16日東広島、2月20日広島で組合員集会を圧倒的結集で行ないました。そして10春闘スト権を97%の高率で確立しました。

経営は、中四方式を導入しても、「解雇も、契約時間の短縮もない」と言っていますが、その舌の根も乾かぬうちに新たな攻撃をかけてきています。全部門店長会議で、①予算通りの利益が上がるまで、労働者の人件費をカットする、②「あるべきシフトになるまで」退職不補充とし、③どしどし配置転換や多忙化攻撃をするといった趣旨の提案を行なって来ました。絶対に許せません。

中四国事業方式導入絶対反対、正規・非正規問わず時給105円アップの大幅一律賃上げ獲得、パート労働者差別撤廃を要求に掲げて10春闘をたたかいます。

広島地域支部：サンナビ分会

2月1日に広島県労働委員会に不当労働行為の申立を行いました。すでに県労委による組合側調査・会社側調査が行なわれましたが、会社側はF組合員に対する月額2万円もの不当な賃下げ・配転について「もともと予定していたもので、組合に入って解雇撤回を要求したからではない」「給与に関する規定は金額までは決めていない」が「求人時にはそうになっていた」とデタラメな答弁でごまかそうとしています。

団結を固めて、賃下げ・不当配転を撤回させるぞ！

新日本造機S組合員の解雇撤回闘争

組合員Sさんに対する解雇攻撃に対し、組合として登場して断固撤回を求めるたたかいを開始しています。Sさんは当初派遣社員として新日本造機に勤め始めましたが、昨年3月に直接雇用の契約社員に。ところが

夏には賃下げ、さらには非正規社員に対する悪質なパワハラ（慣れない仕事をさせて大声で怒鳴りつけるなど）が横行し、多くの契約社員が「退職」を強要されてきました。Sさんはパワハラの事実を告発しましたが、会社側は「そういう事実はない」と組織ぐるみのもみ消し、そして3月末をもって雇い止め＝解雇攻撃に出してきました。

3月3日第一回団体交渉前に門前ビラまき。9割以上の労働者がビラを受け取ります。会社側はこれに大打撃、続く団体交渉では「（ビラに）書いてあることは事実ではない」と消耗をあらわにしました。Sさん先頭に「この場で解雇を撤回しろ。社長を呼んで来い！」と徹底追及しました。会社側はその場で解雇を宣言することができず、「いったん持ち帰らせてください」と逃げました。第二回団交は10日。徹底的にたたかって解雇を撤回するぞ！

三菱広機分会

2月8日に春闘団交・要求書を提出しました。ストライキを構え、大幅賃上げ、労働条件改善を要求してたたかっています。

連帯する闘い

2・11 広島教育労働者団結集会



3・4月卒・入学式闘争に向けて団結を固める集会となりました。教育労働者が自己解放的に闘うという内容が鮮明でした。

2・21広島労組交流センター春闘総決起集会

新日本造機S組合員の決意表明

この集会の大成功に踏まえ、国鉄1047名解雇撤回、JR検修全面外注化阻止の決戦をみなさんと共に戦う決意を強くした次第です。

動労西日本山田副委員長に対する3月31日付での雇い止め解雇を絶対許せない。

この解雇攻撃は、明白な組合破壊であり、資本・JRの狙いがハッキリと表れている。

私も先週、資本・会社側に3月31日で解雇通告を受けました。さっそく会社側に組合(員)通知を実行し、断固、戦う決意を表明しました。

戦う国鉄労働者・山田副委員長にかけられた解雇通知と私にかけられたものは、同じであり、資本による悪質な攻撃に対し、連帯ユニオンの組合員として、まさしく連帯して闘う！！

また、全社会的に蔓延している非正規職化をなくし、派遣法を撤廃するまで闘いを継続させていくことを、ここに決意します。

闘えば勝てます！ご支援の程をよろしくお願いします。



スケジュール

- 3月13日(土) 広島連帯ユニオン 街頭宣伝 15時 広島駅南口東郵便局前
- 3月17日(水) 動労西日本ストライキ (五日市駅) 17時結集
- 3月20日(土) イラク反戦7周年 ワーカーズアクション 東京・代々木公園
- 3月28日(日) 三里塚現地闘争
- 4月・3日(土) 広島労組交流センター定期総会 15時～